



2. 政治への取り組み(基本姿勢「五項目」)

基本姿勢「五項目」

本会は、以下の「五項目」を政治課題として掲げ、政府及び本会と関わる政治家にその実行を強く求めるとともに、自らもその実現に努力します。

1. 生命の尊厳を守る

- すべての生命を尊重し、思いやりと慈しみの心を育てる教育環境をつくる
- 宗教的情操心を養うことを大切にするとともに、自らの心を耕し、生活の中心となる家庭をととのえる
- 人為的な操作により、生命の尊厳が損なわれるような医療行為に反対する

2. 平和主義の推進

- 憲法の平和精神を堅守し、平和主義を第一とする
- 非武装・非暴力を目標に、軍縮の推進を訴える
- 非軍事分野の国際貢献を積極的に推進する

3. 思想・良心・信教の自由を守る

- 人々の平和と繁栄の礎である思想・良心・信教の自由を守る
- ※本会は、これらの自由を侵さず、また侵されないよう全力を尽くす

4. 政教分離の原則を守る

- 靖国神社国家護持・公式参拝に反対する
- 直接、間接に関わらず、特定の宗教団体による政治上の権力の行使を認めない
- ※本会は、政党をつくらず、特定の政党・政治家を固定的に支持せず、また教団役職者を役職者のまま政治家にすることはしない

5. 政治倫理の確立

- 政治腐敗をなくし、政治家自身に倫理観の確立を求める
- 宗教心をもった人格者たる政治家に、よりよい政治運営を期待する
- ※「国民は政治の主権者」としての自覚を持ち、政治倫理の確立に努める